各自治会・町内会用

七里ガ浜小学校ブロック「地域防災マニュアル」

2020年8月改定
（感染症防止対策対応版）

★震災時、自分の家が安全若しくは無事に避難した方は
外から見える門扉やドアのぶに、白いタオルやハンカチ・蛍光塗料入りの黄色いタスキなどを掲げましょう！
（七小ブロックの共通ルール）

七里ガ浜小学校ブロック自主防災委員会

改訂

こんな時、
あなたならどうしますか？

真夜中に強い地震が発生し、停電・断水。
その時、どこに避難すればいいのか。
避難先はどこ？
避難先には、
どんな備蓄品があるのだろうか？

鎌倉に買物に出かけ、
七里ヶ浜駅を降りたその時
地震が起きた。
津波警報が出ているらしい！
どのルートを辿ってどこに
避難すればいいの？

平日、午前中に大きな揺れが来た！
主人は都内へ出ているが無事とのこと。
避難所に来てみたが多くの人が
負傷している。

幸い、私は無傷だった。
避難所で私がすべきことは？

津波で１３４号が寸断。
七里ガ浜は陸の孤島と化した。
一緒に住んでいるおじいちゃんが負傷。
自宅にある備蓄品・医薬品はほんの少し。
何としてでも、助けを得なければ。
どこに行けばいいのだろう？

震災は、
場所・時間・状況を選びません。
もしもの時、私達はどう動くべきか。
新型コロナウィルスなど感染症防止の観点から
防災はどうあるべきか。

昨今の事情を鑑み、
「地域防災マニュアル」を改訂しました。
是非、ご一読ください。

下線部
改訂

目次

1：地域防災マニュアルとは

2：想定される震災規模
①想定被害規模
②想定津波規模
③津波発生のサイン
④大雨・洪水

3：大切な日々の備え
①防災情報を知る
②非常持ち出し品・備蓄品を用意する
③避難経路・場所
④家の内外の安全対策
⑤家族との連絡方法
⑥防災工事費を助成
⑦近隣とのコミュニケーション
⑧災害時要援護者について
⑨ペットの避難に備える
⑩避難時の「ウィルス感染防止」対策

4：自宅以外で被災したら

5：ミニ防災拠点「七里ガ浜小」に避難する

１：地域防災マニュアルとは

・各自治会、町内会で設定された「防災マニュアル」「防災ルール」は、居住地域から防災ミニ拠点である七里ガ浜小学校へ避難するまでの指針です。

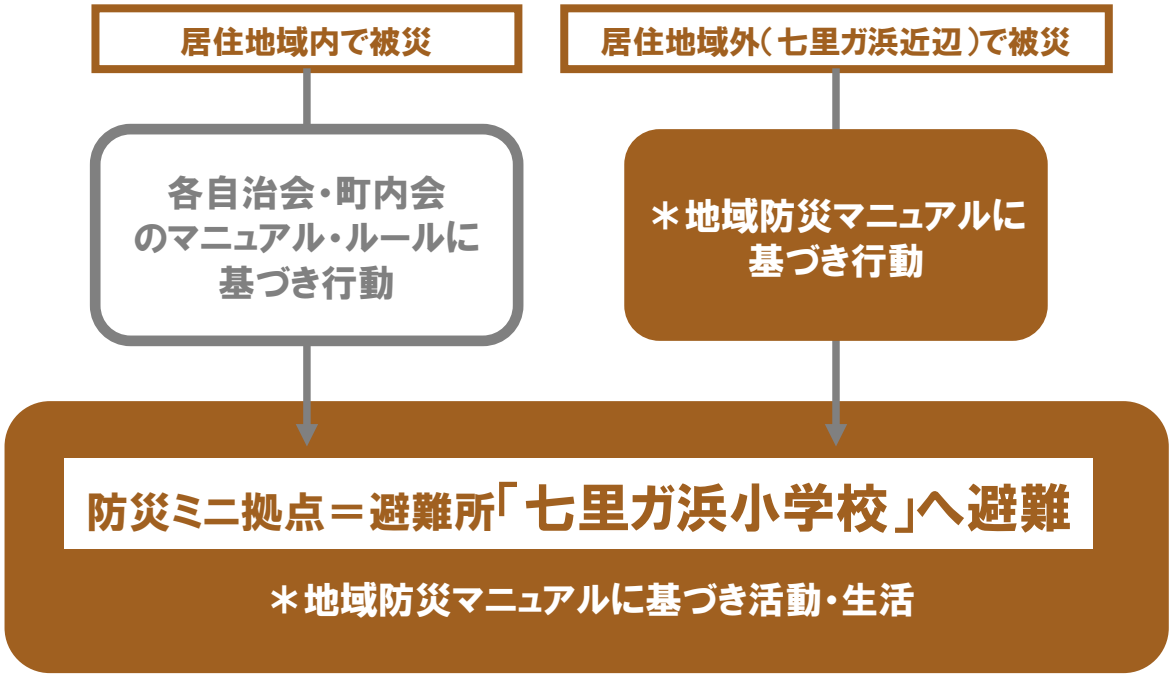
・この「地域防災マニュアル」は

１）居住地域以外で被災した時の心得

＜例＞
・七里ガ浜２丁目自治会員や七里ガ浜自治会員が、海辺にでかけていた時に津波が発生→その時、どう避難？
・七里ガ浜町内会員が、西友付近に買い物にでかけていた時に地震が発生→七里ガ浜小学校にたどり着けないくらいの負傷→その時、どこに避難？

２）居住地域内外で被災した際、七里ガ浜小学校でどう避難活動～生活を行なえばいいか。の心得

の２点を指針を掲げたものです。



2：想定される震災規模

①想定被害規模

被害規模は、発生する地震タイプによって異なりますが

- 建物、火災被害による避難者が多くなること
- 多数の要援護者支援が必要になること
- 電力、ガス、水道、通信に障害が出ること

などが想定されます。

地震被害想定（鎌倉市）

出典：神奈川県地震被害想定調査報告書（平成21年3月）

				南関東地震	神奈川県西部地震	東海地震	神縄・国府津―松田断層帯の地震	南関東地震と神縄・国府津―松田断層帯の連動地震（参考）	三浦半島断層群の地震	東京湾北部地震	神奈川県東部地震	元禄型関東地震（参考）
建物被害		全壊棟数	(棟)	13,810	0	160	5,680	16,400	18,520	1,050	30	－
		半壊棟数	(棟)	14,020	170	2,160	10,850	14,100	14,130	5,270	670	－
火災被害		出火件数	(件)	44.27	0.34	0.56	6.99	41.04	26.34	2.09	0.82	－
		焼失棟数	(棟)	6,260	10	30	680	5,820	3,210	130	30	－
自力脱出困難者			(人)	2,550	0	30	1,000	2,970	3,460	170	0	－
災害時要援護者	震度６弱以上	高齢者世帯数	(世帯)	11,070	－	－	7,560	11,070	11,070	2,790	0	－
		要介護度３以上	(人)	2,750	－	－	1,880	2,750	2,750	700	0	－
	震度５弱以上	高齢者世帯数	(世帯)	11,070	8,080	9,990	11,070	11,070	11,070	11,070	11,070	－
		要介護度３以上	(人)	2,750	2,010	2,490	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	－
	うち避難者数	高齢者世帯数	(世帯)	6,560	90	340	2,940	6,820	6,640	860	170	－
		要介護度３以上	(人)	1,630	20	80	730	1,700	1,650	210	40	－
人的被害	死者数		(人)	200	0	0	30	210	200	10	0	－
	負傷者数		(人)	7,020	10	130	2,020	6,340	7,980	570	180	－
	（うち重傷者数）		(人)	1,340	0	0	390	1,630	1,810	120	0	－
エレベーター停止台数			(台)	300	120	130	230	290	300	190	160	－
ライフライン	電力	停電件数	(軒)	75,180	0	800	34,310	82,000	89,210	6,680	160	－
	都市ガス	供給停止件数	(件)	62,860	0	0	0	62,860	20	0	0	－
	LP ガス	ボンベ被害数	(本)	350	0	0	170	340	290	60	0	－
	上水道	断水世帯数	(世帯)	30,380	0	210	18,810	31,200	34,950	3,400	10	－
	下水道	機能支障世帯数	(世帯)	5,170	260	230	1,860	4,990	3,140	1,150	730	－
	通信	不通回線数	(回線)	72,730	0	510	20,900	73,720	66,390	4,040	100	－
避難者数		１日後	(人)	101,400	1,400	5,160	45,370	105,280	102,600	13,250	2,610	－
		１ヵ月後	(人)	71,920	310	4,020	35,470	77,710	82,360	11,780	1,240	－
帰宅困難者数		直後	(人)	13,370	13,370	13,370	13,370	13,370	13,370	13,370	13,370	－
		２日後	(人)	4,540	260	0	0	6,280	0	0	0	－
震災廃棄物			(万トン)	278	2	14	136	315	344	43	6	－
津波による被害		建物	(棟)	1,640	340	400	160	2,290	0	0	0	1,710
		死者数	(人)	180	30	0	20	350	0	0	0	－

②想定津波規模
七里ヶ浜地区では
地震発生後約10分で約5Mの津波が到達
するとされています。（想定最大津波高は10.9M）
それ以上のことも想定し、地震が来たらすぐ避難する
ために避難路を確認しておきましょう。

改訂

○南関東地震（レベル１）

津波の高さは、第１波が約３～５m、最大の波が約５～８mと予想されます。震源域が近いことから津波の到達時間が早く、第１波は10分前後、最大の波は30分後には到達すると考えられます。

場所＼到達時間・津波高	第１波ピーク		最大波ピーク	
	到達時間（分）	津波高（m）	到達時間（分）	津波高（m）
腰越漁港	10	4.1	56	5.0
小動岬東側	10	4.5	58	5.1
七里ガ浜	10	4.6	41	4.9
稲村ガ崎	10	3.6	30	6.2
坂ノ下	11	3.1	32	8.0
材木座	13	3.0	30	7.1

○明応型地震（レベル２）

第１波ピーク到達までに約50分ほどあるものの、第１波ピークが最大津波高となる可能性があります。第１波ピークは７～11mで、最大波ピークは坂ノ下の13mです。最も大きな特徴として、第１波の津波高が４mを超える時間が長いことが推定されます。津波高４m以上が10分継続することから、想定される浸水面積は、本計画で想定する津波の中で最も広くなります。

場所＼到達時間・津波高	第１波ピーク		最大波ピーク	
	到達時間（分）	津波高（m）	到達時間（分）	津波高（m）
腰越漁港	53	7.6	53	7.6
小動岬東側	53	7.5	85	8.8
七里ガ浜	54	7.5	109	7.6
稲村ガ崎	56	9.7	56	9.7
坂ノ下	56	10.3	84	12.9
材木座	58	10.7	58	10.7

○慶長型地震（レベル２）

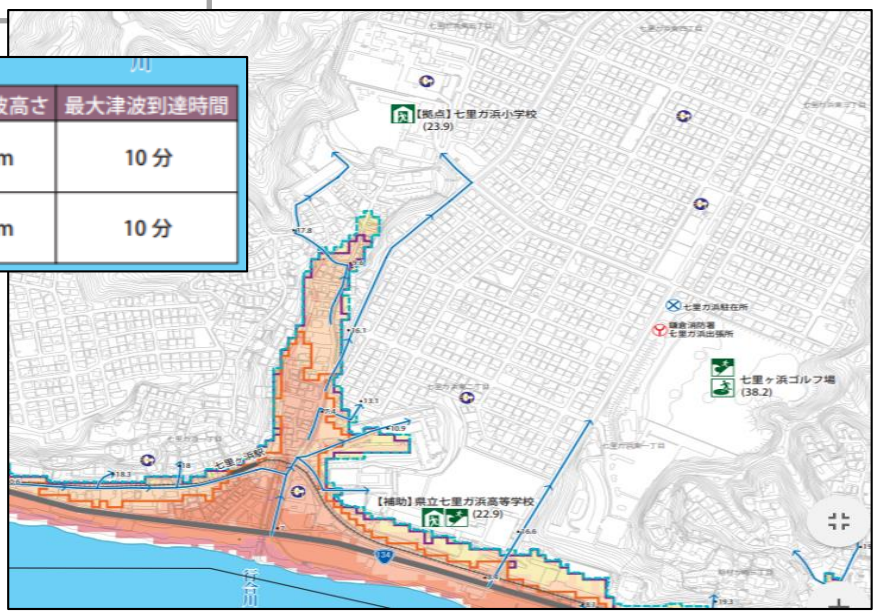
第１波ピーク到達までに約35分、第１波ピークは最大４m（坂ノ下）となり、後続波の津波高が大きく、最大波ピークは80～100分後で、最大14m（坂ノ下）を超えると考えられています。この地震による津波高は、他２地震よりも大きくなり、腰越漁港以外の海岸では10mを超えるとされています。

場所＼到達時間・津波高	第１波ピーク		最大波ピーク	
	到達時間（分）	津波高（m）	到達時間（分）	津波高（m）
腰越漁港	35	2.1	86	9.0
小動岬東側	32	1.4	104	10.3
七里ガ浜	42	3.5	108	10.9
稲村ガ崎	43	4.2	78	10.2
坂ノ下	43	4.5	80	14.5
材木座	43	3.9	82	11.2

津波の想定にあたって、鎌倉市は４つの地震ケースを前提としています。そのうち津波レベルが高いのは記載の３ケース。
その際、行合川沿いの海抜が低いことから七里ガ浜１丁目では津波浸水被害が懸念されています。
七里ヶ浜小学校、高台を目指して避難しましょう。

（鎌倉市地域防災計画より）

鎌倉海岸（七里ガ浜地区）		
想定地震名	最大津波高さ	最大津波到達時間
相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）	14.5m	10 分
元禄関東地震タイプと国府津 - 松田断層帯地震の連動地震	9.0m	10 分



③津波発生のサイン

改訂

津波警報が発表された際、鎌倉市が「防災用無線のサイレンと放送」で注意を発表します。また、全国の海岸では「津波フラッグ」を掲出して、避難を促す取組みを推進しています。

■サイレンについて

津波警報等の発表基準と津波の高さの予想区分

気象庁は、予想される津波の高さに応じて、津波警報・津波注意報を発表します。
津波警報等が発表された場合、市では防災行政用無線のサイレンと放送で注意を呼びかけます。

区分		発表される津波の高さ		想定される津波リスク・とるべき行動	サイレンの鳴り方
		大きさの表現	想定到達高		
警報	大津波警報	巨大	10m超（10m～）	●巨大な津波が襲い壊滅的な被害が生じる ●木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる ●ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難	サイレン ●―●…… （6回） 3秒吹鳴　休止2秒
警報	大津波警報	巨大	10m（5～10m）	●巨大な津波が襲い甚大な被害が生じる ●木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる ●ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難	
警報	大津波警報	巨大	5m（3～5m）	●津波が襲い甚大な被害が生じる ●木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる ●ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難	
警報	津波警報	高い	3m（1～3m）	●海抜の低いところでは津波が襲い被害が生じる ●浸水被害が発生し、人は津波による流れに巻き込まれる ●ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難	サイレン ●―●…… （3回） 5秒吹鳴　休止6秒
注意報	津波注意報	（表記しない）	1m（0.2～1m）	●海中や海岸付近では津波による被害が生じる ●海中にいると速い流れに巻き込まれる ●定置網の流失や小型船舶等の転覆などが生じる ●ただちに海岸から離れること	――――

津波警報の発表基準等と情報文のあり方に関する提言（気象庁 平成24年2月7日）を参考

■津波フラッグ

津波フラッグは、長方形を四分割した
赤と白の格子模様のデザインです。
縦横の長さや比率に決まりはありませんが、
遠くからの視認性を考慮して、
短辺100cm以上が推奨されています。

④大雨・洪水－1

改訂

雨の強さと降り方の目安

突発的かつ局地的な集中豪雨に関する情報は入手することが困難です。ふだんから雨の様子をチェックしましょう。

1時間雨量	予報用語	人への影響	屋外の様子・車に乗っていて	災害発生状況
10～20	やや強い雨	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	地面一面に水たまりができる。	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20～30	強い雨	傘をさしていてもぬれる。	ワイパーを速くしても見づらい。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30～50	激しい雨		道路が川のようになる。高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50～80	非常に激しい雨	傘は全く役に立たなくなる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80～	猛烈な雨		車の運転は危険。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

単位：(mm)　　資料：気象庁（H14.1一部改正）

こんな時はどうすればいいの？

●情報の種類・状況●	●みなさんの行動●
気象注意報（大雨・洪水注意報） ◎大雨や洪水によって災害の起こるおそれがある状況	◎テレビ、ラジオなどで気象情報などに注意しましょう。 ◎ホームページなどで河川の状況を確認しましょう。 ・川の水位が急に増す。 ・川の流れが急激に速くなる。
気象警報（大雨・洪水警報） ◎大雨や洪水によって重大な災害の起こるおそれがある状況	◎外の様子に注意しましょう。 ・道路の側溝から大量の水があふれる。
避難準備情報 ◎災害時、特に避難行動に時間を要する方（お年寄り、子ども、障害のある人・病気の人など）が避難行動を開始しなければならない段階で、人的被害の発生する可能性が高まった状況	◎災害時、特に避難行動に時間を要する方（お年寄り、子ども、障害のある人・病気の人など）は、避難所などへの避難行動を開始してください。 ◎避難を支援する方も、支援行動を開始してください。 ◎通常の避難行動ができる方は、家族などとの連絡、非常持出品の用意など、避難準備を開始してください。
避難勧告 ◎通常の避難行動をできる方が避難行動を開始しなければならない段階で、人的被害が発生する可能性が明らかに高まった状況	◎通常の避難行動ができる方は、避難所などへの避難行動を開始してください。 ◎すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難所へ移動せず、浸水していない近くの高い所へ一時的に避難するなどの行動を取ってください。
避難指示 ◎前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状況 ◎人的被害が発生する可能性が非常に高まった状況	◎避難勧告などの発令後で避難途中の方は、確実な避難行動を直ちに完了してください。 ◎また避難していない方は、直ちに避難行動に移るか、すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難所へ移動せず、浸水していない近くの高い所へ一時的に避難するなどの行動を取ってください。

浸水被害への対策

排水を控える

大雨時には家庭からの排水は控えましょう。一軒一軒の家の排水が集まれば、相当な水量になります。

水防の準備

土のうなどを用いて、家への浸水を防止しましょう。

家庭での簡易水防工法例

小規模水災で水深の浅い初期の段階で行えるものとして、簡易な土のうや水のうを置いて浸水を防止する方法があります。

■ 簡易水のうの作り方
45リットル程度のゴミ袋を二重にし、中に半分程度水を入れます。
（持ち運べる重さにする）

■ 簡易水のうの利用方法

隙間なく並べて浸水を防ぐ。

段ボール箱に入れると持ち運びにも便利。

※水のうは、二段重ねができないので10cm程度の水深が限界です

④大雨・洪水－2

改訂

それぞれの**警戒レベル**に相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。
市町村からの**避難勧告等の発令に留意**するとともに、避難勧告等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。
警戒レベル５の状況では災害が発生して避難できなくなることから、**警戒レベル３や４の段階で避難することが重要**です。

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	警報等	警戒レベルに相当する気象庁等の情報※3		指定河川洪水予報
5	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報 ※可能な範囲で発令	大雨特別警報	危険度分布		氾濫発生情報
4	・危険度分布の「極めて危険」（濃い紫）出現時には、道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく **速やかに避難** ・危険な区域※1の外の少しでも安全な場所に速やかに避難	避難指示(緊急) ※緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 避難勧告	土砂災害警戒情報	極めて危険 非常に危険		氾濫危険情報
3	高齢者等は速やかに避難 土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報	警戒（警報級）		氾濫警戒情報
2	ハザードマップ等で避難行動を確認 ・危険な区域※1や避難場所等を再確認		大雨注意報※2 洪水注意報	注意（注意報級）		氾濫注意情報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報（警報級の可能性）			

＊防災気象情報と警戒レベルの対応の詳細については、ホームページをご覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/alertlevel.html

３：大切な日々の備え

改訂

①防災情報を知るために「鎌倉市の防災メール配信」の登録を!
②「非常持ち出し品＆備蓄品」の用意をしましょう。

①情報を知る

（1）防災行政用無線（防災かまくら)／気象情報や防災情報などを放送します。

聞こえにくい場合は…消防テレホンサービス 電話0120-24-0467

（＊通常は火災・災害発生情報のほか、消防からのお知らせが流れています。）

（2）市のホームページ／http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/

（3）防災・安全情報をメール配信

防災・防犯情報をメール配信しています。

携帯は右のQRコードから、

パソコンは https://service.sugumail.com/kamakura/ で登録を。

鎌倉市の
防災メール配信

（4）鎌倉エフエム 82.8MHz

災害の発生情報や防災行政用無線の放送内容などを、番組中に割り込みで放送します。

（5）J:COM鎌倉（ケーブルテレビ） 地デジ11ch

災害の発生情報や、防災行政用無線の放送内容などを字幕で流します。

（６）鎌倉市災害コールセンター／（災害対応窓口）電話23-3000

市域全体に被害の恐れがあり、市民の皆さんからの問い合わせ窓口を一本化する必要がある場合に市が設置します。

②非常持ち出し品・備蓄品を用意する

■避難するときの 非常持ち出し品

□貴重品（現金・通帳・印鑑・保険証など）

□ヘルメット・防災ずきん

□懐中電灯・ラジオ・予備電池

□非常食（乾パンなど）・飲料水

□救急医薬品・常備薬

□衣類・軍手・ナイフ・缶切り・ろうそく・ライターなど

□七小の床に敷く新聞紙や簡易マットなど

■自力で生きるための 備蓄品 （最低3日分）

□非常食と飲料水（1人1日3ﾘｯﾄﾙ）

□生活用品（カセットコンロ・予備のボンベ・毛布・衣類・トイレットペーパー・ビニール袋ラップ・生理用品など）

□工具類（家屋の倒壊に備え、スコップ・バール・のこぎり・車のジャッキなど）

□簡易トイレなど

■感染症発生時の避難に備える（避難に備えて不足が予想されるものを各自用意）

□マスク、石鹸(消毒液)、体温計、タオル、スリッパ、ビニール手袋等

③自宅のみならず、通勤通学時のなどの避難場所なども確認しておきましょう。

③避難経路・場所

地図などを見て、どこへ、どの経路で逃げるか、確認しておきましょう。

避難所（ミニ防災拠点）

状況に応じて市の判断で開設します。

地　区		被災者収容施設名称	所　在　地		緯度・経度
鎌倉地区	1	第一小学校	由比ガ浜	2-9-55	35.314281,139.547816
	2	第二小学校	二階堂	878	35.323642,139.565338
	3	御成小学校	御成町	19-1	35.318208,139.547099
	4	稲村ケ崎小学校	極楽寺	3-2-3	35.310822,139.52814
	5	第一中学校	材木座	6-19-19	35.302574,139.555719
	6	第二中学校	西御門	1-7-1	35.328035,139.558978
	7	御成中学校	笹目町	2-1	35.318059,139.542216
腰越地区	8	腰越小学校	腰越	5-7-1	35.312502,139.492987
	9	西鎌倉小学校	津	1069	35.323761,139.507012
	10	七里ガ浜小学校	七里ガ浜東	5-3-2	35.311725,139.512403
	11	腰越中学校	腰越	4-11-20	35.312564,139.497635
深沢地区	12	深沢小学校	梶原	1-11-1	35.330858,139.520649
	13	富士塚小学校	上町屋	810	35.336977,139.520695
	14	山崎小学校	山崎	2500	35.338712,139.533718
	15	深沢中学校	梶原	1-14-1	35.330942,139.523684
	16	手広中学校	手広	5-7-1	35.32523,139.505016
大船地区	17	小坂小学校	小袋谷	587	35.343616,139.540765
	18	大船小学校	大船	2-8-1	35.351436,139.534997
	19	今泉小学校	今泉	2-13-1	35.344648,139.551448
	20	大船中学校	大船	4-1-25	35.346699,139.536713
	21	岩瀬中学校	岩瀬	840	35.346813,139.549548
玉縄地区	22	玉縄小学校	玉縄	1-860	35.350945,139.523392
	23	関谷小学校	関谷	468-1	35.360971,139.513643
	24	植木小学校	植木	1	35.353868,139.518381
	25	玉縄中学校	岡本	1100	35.348117,139.519517

改訂

補助避難

避難所（ミニ防災拠点）に収容することが不可能な場合に開設します。

地　区	被災者収容施設名称		所　在　地		緯度・経度
鎌倉地区	1	横浜国大附属小･中学校	雪ノ下	3-5-10	35.324951,139.55867
	2	清泉小学校	雪ノ下	3-11-45	35.325046,139.561397
	3	鎌倉女学院	由比ガ浜	2-10-4	35.313854,139.550175
	4	鎌倉霊園	十二所	512	35.327552,139.582946
腰越地区	5	県立七里ガ浜高等学校	七里ガ浜東	2-3-1	35.305556,139.512891
	6	県立鎌倉高等学校	七里ガ浜	2-21-1	35.308624,139.503485
深沢地区	7	県立深沢高等学校	手広	6-4-1	35.330394,139.50341
大船地区	8	鎌倉学園	山ノ内	110	35.331102,139.553009
	9	鎌倉女子大学岩瀬キャンパス	岩瀬	1420	35.360564,139.547224
	10	県立大船高等学校	高野	8-1	35.345135,139.547818
玉縄地区	11	栄光学園	玉縄	4-1-1	35.355936,139.520078

一時滞在施設（帰宅困難者用）

災害発生により帰宅の手段を失い、駅の周辺・市街地・社寺・名所旧跡などに滞留している人のために開設します。

被災者収容施設名称		所　在　地		緯度・経度
1	長谷寺	長谷	3-11-2	35.311897,139.53273
2	建長寺	山ノ内	8	35.331973,139.555961
3	円覚寺	山ノ内	409	35.337957,139.548513
4	鶴岡八幡宮	雪ノ下	2-1-31	35.326112,139.556427
5	鎌倉生涯学習センター	小町	1-10-5	35.318115,139.552551
6	鎌倉芸術館	大船	6-1-2	35.353168,139.539169
	鎌倉宮	二階堂 154		35.325886 139.567016
	鎌倉武道館	山崎 616-6		35.34612 139.5251

福祉避難所

避難所（ミニ防災拠点）や補助避難所に収容することが困難な、要援護高齢者や障害者のために開設します。

被災者収容施設名称		所　在　地		緯度・経度
1	県立鎌倉養護学校	関谷	566	35.361472,139.515269
2	名越やすらぎセンター	材木座	2-15-3	35.308757,139.557449
3	教養センター	笛田	2-17-1	35.324558,139.51603
4	今泉さわやかセンター	今泉	3-21-23	35.343983,139.561921
5	玉縄すこやかセンター	玉縄	5-9-1	35.35894,139.520041

④家屋内外の安全対策を怠らない。
⑤もしもの時の「連絡方法」を確認しておきましょう。

④家の内外の安全対策

□家具は人の出入りが少ない部屋に配置 ・就寝中、
体に倒れてこないように配置
転倒・落下を防止する（金具や転倒防止シートなどで）
□通路や出入口には荷物・家具を置かない
□窓・食器棚・額縁などのガラスに飛散防止フィルムを貼る
□水害に備えて土のうを用意する
□就寝時も、すぐはける場所に靴を置く

⑤家族との連絡方法

■災害用伝言ダイヤル 171

災害の発生により、被災地への通話が増加し、電話がつながりにくい状況になった場合にサービスが開始される「声の伝言板」です。171をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言を録音・再生してください。

※普段から避難先(待ち合わせ場所)を決めておきましょう

⑥がけ崩れ・倒壊防止などの助成金を利用する。
⑦防災活動の基本は「近隣との共助」。
各自治会・町内会の防災活動に参加しましょう！

⑥防災工事費を助成

■がけ崩れを防ぐ工事をする人に！

既成宅地等の防災工事資金を助成（市総合防災課 内線2285）

高さ2m以上、こう配30°以上のがけ地で、斜面崩壊などにより人家に被害の恐れがある箇所の防災・伐採工　事をする場合、費用の1月2日を補助。条件など詳細は問い合わせを。工事前に申請が必要。

防災工事＝250万円まで補助（築10年以上の家屋がある場合）

伐採工事＝60万円まで補助（築5年以上の家屋がある場合）

■建物の倒壊を防ぎ命と財産を守ろう

木造住宅の耐震改修工事費を補助（建築指導課 0467-61-3586）

市の「耐震相談」と「現地耐震診断」を受けた住宅で、耐震補強工事を必要とする場合、50万円を限度に補助金を交付。対象は昭和56年5月31日以前に建築した木造の一戸建て住宅（枠組み壁工法、プレハブ工法は除く）で、自らが所有する建物に住んでいる人。詳細は問い合わせを。

■ブロック塀の倒壊による被害を出さないように

危険ブロック塀等の除去費を助成（建築指導課 0467-61-3596）

対象はコンクリートブロックや大谷石積みなどの塀で、道路に面し、市の調査により危険と判断された塀など。

限度額は10万円。

助成額は塀の構造によって異なります。工事前に申請が必要。

（コンクリートブロック塀の場合：

塀1平方メートル当たり2,700円＋基礎1メートル当たり5,400円）

⑦近隣とのコミュニケーション

各自治会・町内会そして、４ブロックでは「自主防災組織」を結成して、訓練や資機材整備を行っています。

いざというきのために、地域の活動にぜひご参加ください。

⑧災害時、高齢者・障害者は特に援護となります。
近隣に該当する方がいて、避難が困難な場合は、
避難所で運営委員にお知らせください。

⑧災害時に援護が必要な方を、日頃から知っておきましょう。

鎌倉市地域防災計画では

「近年の災害では、情報の入手や自力での避難が困難な災害時要援護者の犠牲者が多くなっています。災害時要援護者の被害を最小限にとどめるため、市は、国が示した「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」（平成18年３月災害時要援護者の避難対策に関する検討会）、「避難行動要支援 者の避難行動支援に関する取組指針」（平成25年８月内閣府）を基に全体計画を策定します。さら に、個人情報に配慮しつつ災害時要援護者の情報を庁内で共有・把握するとともに、平常時から地域において災害時要援護者を支援する体制を整備します。」

と、災害時要援護者支援の必要性を記載しています。

**「災害時要援護者」は、自力で避難することが困難なケースが多いことから、
優先的かつ効率的に救助することが重要となります。
そのため、各自治会・町内会で、日常的にその所在を確認し
避難所運営委員会にその情報を提供できるようにすることが必要です。**

**私たちに出来ること。
それは、日頃から
近隣の高齢者・障害者の方を気遣い
避難の時も気遣うことです。**

**先ず、自分の安全を確保。
その上で、皆で助けましょう。**

⑨ペットの避難に備えましょう。

⑨避難所での生活に備え、日頃の準備をお願いします。

七里ガ浜小学校「避難所運営マニュアル」に、ペットの避難について
指針を策定しました。

（策定参考資料：環境省　災害時におけるペットの 救護対策ガイドライン
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2506/full.pdf）

避難所では「ペット用避難スペース」を確保することを前提とし
飼主各自が用意したゲージの中でペットが避難生活を送ります。

- 1週間分のエサの準備
- トイレ用品、消毒薬の準備
- リードの準備
- ペットを持ち運ぶことのできるゲージの準備
  （避難所では各自が用意したゲージでの生活が基本となります。）
  （そのため、ゲージでの生活に慣れておくようにお願いします。）

- 飼い主の名前や住所、連絡先を記入した迷子札等を
  ペットに装着し、飼い主が
  すぐわかるようにしておきましょう。

犬には、狂犬病予防法に基づく鑑札・注射済票を
着けておきましょう。
迷子になった時も飼い主のもとに
帰れる可能性が高くなります。

（参考）環境省：災害時におけるペットの救護対策ガイドライン

飼主が行うべき日常の対策例①

◆ 飼い主が行うべき対策の例

平常時

- 住まいの防災対策
- ペットのしつけと健康管理
- ペットが迷子にならないための対策（マイクロチップ等による所有者明示）
- ペット用の避難用品や備蓄品の確保
- 避難所や避難ルートの確認等の準備

災害時

- 人とペットの安全確保
- ペットとの同行避難
- 避難所・仮設住宅におけるペットの飼育マナーの遵守と健康管理

◆ 飼い主が備えておくべきこと

- 普段の暮らしの中での防災対策
- ペットのしつけと健康管理
- ペットが迷子にならないための対策（マイクロチップ等による所有者明示）
- ペット用の避難用品や備蓄品の確保
- 避難所や避難ルートの確認等
- 災害時の心がまえ

（参考）環境省：災害時におけるペットの救護対策ガイドライン

飼主が行うべき日常の対策例②

◎災害に備えたしつけと健康管理の例

犬の場合

- 「待て」「おいで」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけを行う。
- ケージ等の中に入ることを嫌がらないように、日頃から慣らしておく。
- 不必要に吠えないしつけを行う。
- 人やほかの動物を怖がったり攻撃的にならない。
- 決められた場所で排泄ができる。
- 狂犬病予防接種などの各種ワクチン接種を行う。
- 犬フィラリア症など寄生虫の予防、駆除を行う。
- 不妊・去勢手術を行う。

猫の場合

- ケージやキャリーバッグに入ることを嫌がらないように、日頃から慣らしておく。
- 人やほかの動物を怖がらない。
- 決められた場所で排泄ができる。
- 各種ワクチン接種を行う。
- 寄生虫の予防、駆除を行う。
- 不妊・去勢手術を行う。

◎迷子にならないための対策例

犬の場合

- 首輪と迷子札
- 鑑札や狂犬病予防注射済票（飼い犬は狂犬病予防法により鑑札の装着や年一回の予防注射、及び注射済票の装着が義務づけられている）
- マイクロチップ

猫の場合

- 首輪と迷子札（猫の首輪はひっかかりを防止するために、力が加わると外れるタイプがよい）
- マイクロチップ

（参考）環境省：災害時におけるペットの救護対策ガイドライン

飼主が行うべき日常の対策例③

マイクロチップとは？

- マイクロチップには、15 桁の数字（個体識別番号）が記録され、マイクロチップリーダー（読取器）をあてると、その数字が表示される。個体識別番号に関連づけられた飼い主情報を確認することで、飼い主を特定する。
- 直径2mm、長さ12mm 程度の円筒型で、動物の首の皮膚の下に専用注射器で挿入するもの。
- 一度装着すれば、首輪や迷子札のように外れて落ちたりする心配が少なく、より確実な身元証明になる。
- マイクロチップを装着した後は、必ず AIPO にマイクロチップ番号や連絡先などの登録手続を行い、転居等で登録情報が変更した場合は、変更手続きを行う必要がある。

上、右上：マイクロチップリーダー
右下：マイクロチップ

（参考）環境省：災害時におけるペットの救護対策ガイドライン

飼主が行うべき日常の対策例④

◎ペットを避難させるために必要な避難用品の例

犬の場合

- 首輪とリード（小型犬などはリードを付けた上でキャリーバックに入れるのもよい）

猫の場合

- キャリーバックやケージ（キャリーバックなどの扉が開かないように、ガムテープなどで周囲を固定するとよい）

◎ペット用の備蓄品と持ち出す際の優先順位の例

優先順位1　常備品と飼い主やペットの情報

- 療法食、薬
- フード、水（少なくとも5日分［できれば7日分以上が望ましい］）
- 予備の首輪、リード（伸びないもの）
- 食器
- ガムテープ（ケージの補修など多用途に使用可能）
- 飼い主の連絡先とペットに関する飼い主以外の緊急連絡先・預かり先などの情報
- ペットの写真（携帯電話に画像を保存することも有効）
- ワクチン接種状況、既往症、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報

優先順位2　ペット用品

- ペットシーツ
- 排泄物の処理用具
- トイレ用品（猫の場合は使い慣れたトイレ砂）
- タオル、ブラシ
- おもちゃ
- 洗濯ネット（猫の場合）など

（参考）環境省：災害時におけるペットの救護対策ガイドライン

飼主が行うべき日常の対策例⑤

ペット用備蓄品の例

ペット用備蓄品（犬用）の例

ペット用備蓄品（猫用）の例

ペット用備蓄品保管袋に付けられた個体情報の例

改訂

⑩避難時の「感染防止」対策

2020年に感染が拡大した新型コロナウィルスなど
感染症発生時には、感染防止に対応した
「特別な避難対策」が必要となります。

（策定参考資料：神奈川県新型コロナウィルス感染症を踏まえた避難所運営ガイドライン参照版）
https://www.pref.kanagawa.jp/documents/63209/covid19shelterguideline.pdf

- ■避難所の「密状態」を回避するため、先ず自宅の災害の危険性を確認し、自宅で居住が継続できる場合は自宅避難も検討
- ■自助の備えとして親戚や友人の家など避難所以外への避難も検討
- ■避難に備えて不足が予想されるマスク、石鹸(消毒液)、体温計、タオル、スリッパ、ビニール手袋等は、各自で用意
- ■服薬している薬やサプリメント等を用意
- ■受付時の混雑を避けるため、避難所の受付時に記入する「避難者カード」（次ページ）を事前に記入し持参する
- ■避難所に行く際はマスクを着用
- ■ 避難所では感染症対策（2m間隔の確保等）を行う
- ■避難警戒レベル情報を基に、早期避難を行う。

改訂

避難者カード

避　難　所　名	七里ガ浜小学校
最初に入所した日時	平成　　年　　月　　日　午前･午後　　時　　分

住　　所							
電　話　番　号							
氏　　名		続柄	性別	年齢	入所日時	退所日時	備考
世帯主又は代表者					月　日 午前･午後　時　分	月　日 午前･午後　時　分	
一緒に避難した人					月　日 午前･午後　時　分	月　日 午前･午後　時　分	
					月　日 午前･午後　時　分	月　日 午前･午後　時　分	
					月　日 午前･午後　時　分	月　日 午前･午後　時　分	
					月　日 午前･午後　時　分	月　日 午前･午後　時　分	
					月　日 午前･午後　時　分	月　日 午前･午後　時　分	

特記事項（傷病者等）

要援護者がいる場合、詳細記載
ペットがいる場合、詳細記載
コロナ感染防止の観点から持病･疾病がある場合は詳細記載

4：自宅以外で被災したら

七里ガ浜近辺での外出時に被災した場合、防災ミニ拠点「七里ガ浜小学校」か「一時避難場所」に避難！下記の避難ルートを目安に避難しましょう！

※津波発生時は危険な道路・場所に近づかないでください。

一時避難場所（指定避難場所）

七里ガ浜町内会	七里ガ浜町内会館 田辺公園 オーシャンビュ - 付近	渚荘付近 ウクレレスタジオ付近 藤和ライブタウン付近
七里ガ浜２丁目自治会	２丁目公園 かめ公園 かもめ公園	
七里ガ浜自治会	正福寺公園 東２丁目公園 東３丁目公園	東４丁目公園 東５丁目公園 東５丁目北公園
北稲村自治会		

ミニ防災拠点（七里ガ浜小学校）
４ブロック自主防災本部

広域避難場所（鎌倉高校・プリンスゴルフ場）

防災用行政無線

津波発生時の避難経路

津波発生時に危険な道路・場所

津波発生時は行合川の氾濫・冠水の恐れがあります。
2丁目自治会の住民及びウクレレスタジオ付近・藤和ライブタウン付近に避難した場合は一時避難場所で待機してください。

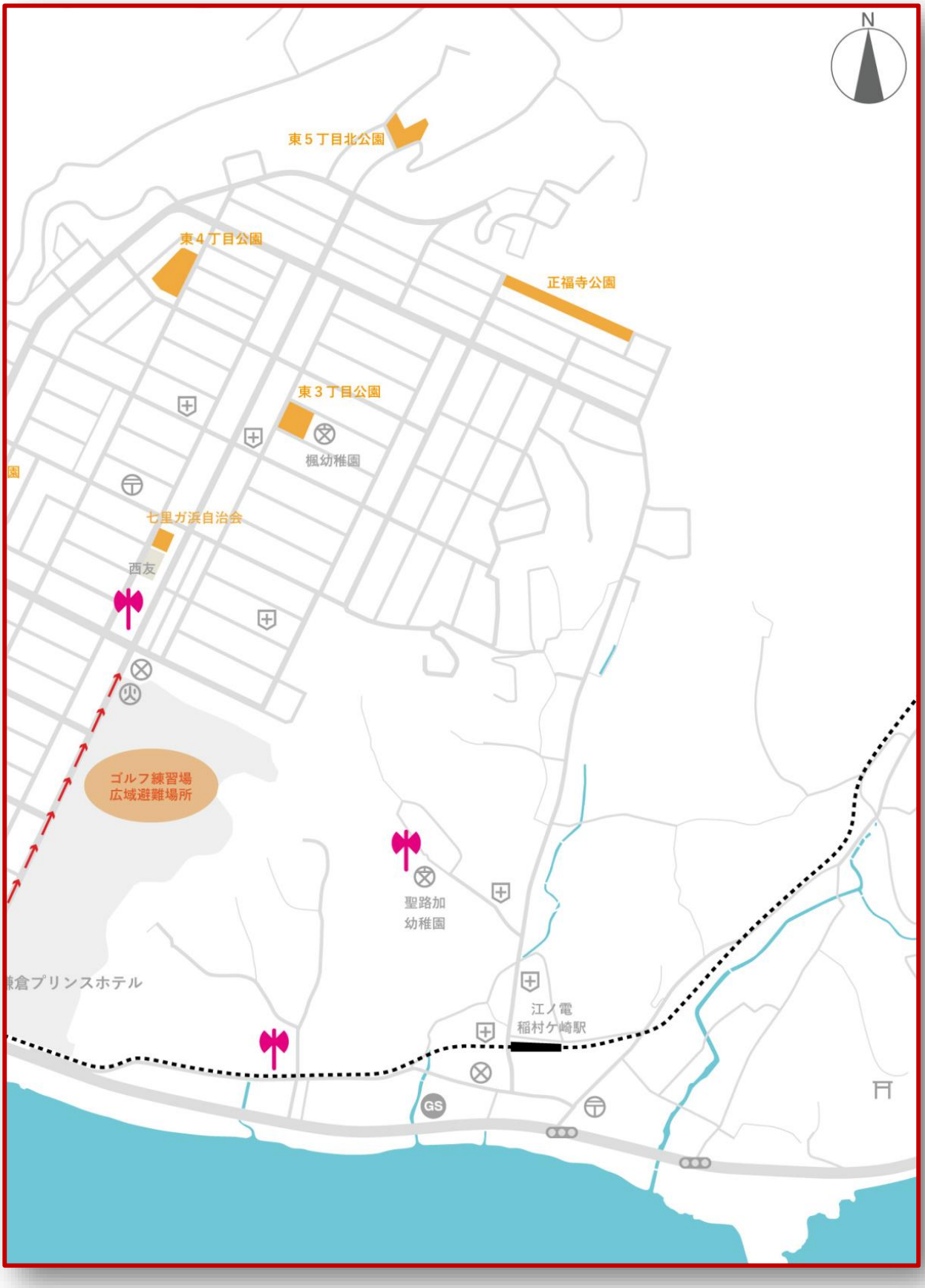
※ 津波発生時は七里ガ浜町内会館と田辺公園への避難はお止めください。
海抜が低いため危険です。

七里ガ浜駅付近　一時避難場所への入口

① デラセーラへの入口

② 渚荘付近への入口

③ オーシャンビュー付近への入口


N
東５丁目北公園
東４丁目公園
正福寺公園
東３丁目公園
楓幼稚園
七里ガ浜自治会
西友
ゴルフ練習場
広域避難場所
聖路加
幼稚園
鎌倉プリンスホテル
江ノ電
稲村ケ崎駅
GS

５:ミニ防災拠点（＝避難所）
「七里ガ浜小学校」へ
避難する

「ミニ防災拠点（＝避難所）」七里ガ浜小学校へ避難。火災の延焼拡大により避難所が危険になった場合には「広域避難所」である七里ガ浜ゴルフ場・鎌倉高校へ。

・地震災害などにより、家屋の倒壊や火災などによって居住場所を失ったとき、または失うおそれのあるときは、

①まず各自治会・町内会が事前に決めた集合場所へ一時的に避難
②その後、集団でミニ防災拠点（＝避難所）」へ避難します。

私たちの自治会・町内会の

ミニ防災拠点（＝避難所）は「七里ガ浜小学校」となっています。

・市内または隣接する市の観測地点で震度５強以上の地震が観測されたときには、あらかじめ指名された市の職員が指定された場所に参集し、災害対策活動に従事することとしており、拠点ごとに責任者・補助者を置くなどの体制を敷いています。

・そして、火災の延焼拡大により避難所が危険になった場合に、煙や輻射熱から私たちの生命を守る広域避難場所へ避難します。

私たち4ブロックの

広域避難場所」は「七里ガ浜ゴルフ場」「県立鎌倉高校」

の2箇所です。（地震が発生しても大火災が起きなければ、ここに避難する必要はありません。）

七里ガ浜ゴルフ場	七里ガ浜東1-2-18	坂ノ下 極楽寺一丁目～四丁目 稲村ガ崎一丁目～五丁目 七里ガ浜東一丁目～五丁目
県立鎌倉高等学校	七里ガ浜2-21-1	腰越一丁目～五丁目 腰越及び津の一部（県道腰越大船線以東と市道大船西鎌倉線以南及び以東とし、その内の猫池分譲地を除く） 津西一丁目・二丁目 七里ガ浜一丁目・二丁目

改訂

備蓄品について。

・主な備蓄品の内容は

１)サバイバルフーズアルファ米など、火が使えない場合でも
食べることができる食糧品

２)毛布や調理器具、簡易食器などの生活用品

３)工具セットやハンマー、担架など救援作業のための機材

４)その他救急医薬品や簡易トイレなど避難生活に
当面必要となる資機材

が中心となっています。

このほか、市内の各消防署所の敷地内などに設置した
備蓄倉庫にも食糧や資機材の整備を行っており、
災害の状況に応じ活用することになっています。

・また、備蓄品は
1,000名が、3日間生活できる量を目標に備蓄するとなっており
定期的期限切れの備品入れ替えなどを 行っています。

・なお、避難所における
感染防止を目的とし、
新たな備品を用意する
予定です。

避難所（ミニ防災拠点）の防災備蓄物資一覧表

改訂

食糧・飲料	サバイバルフーズ	10,800食
	アルファ米	1,000食
	災害用飲料水（500ml）	1,560本
生活必需品	毛布	4440枚
	ブランケット	900枚
	フリース	50枚
	弱者対策用簡易トイレ	1台
	トイレットペーパー	96巻
	ワンタッチ携帯トイレ（テント付）	10基
	トイレ用ビニール袋	1,000枚
	据付型洋便器	4基
	大人用おむつ	152枚
	乳幼児用おむつ	580枚
	尿とりパッド	34枚
医療救護資機材	救急カバン（50人用）	2個
	携帯用救急ポーチ	1個
	担架	3台
	車椅子	1台
	ツイン型簡易ベット	6台
	折りたたみベッド	3台
	簡易間仕切り	4ブース
避難所開設資機材等	発電機（2.3kw）	1台
	大型コンロセット（180人用）	1台
	カセットコンロ	2台
	カセットガスボンベ	12本
	キャンバス水槽（2t）	1基
	ひしゃく	2本
	おたま	2本
	やかん（6ℓ）	5個
	紙皿	3,000枚
	コップ（プラスチック製）	1,000個
	スプーン（プラスチック製）	1,000本
	サルベージシート	2枚
	ポット（2.2ℓ）	1個
	飲料水用ビニール袋（5ℓ）	200枚
	トラロープ（200m）	1巻
	防災救助用具セット	2箱
	リヤカー	1台
	石油ストーブ	1台
	ガソリン携行缶（20ℓ）	1缶
	自転車	⓪台
	自転車用空気ポンプ	1本
	スチールハンマー（小）	2本
	工具セット	1組
	ジャッキ	2台
	釘（1kg）	5箱
	カラーワイヤー（1巻／1kg）	3巻
	軍手	48双
	コードリール	2巻
	作業灯（500w）	4個
	液体ローソク	20個
	携帯用メガホン	1個
	ラジオ	1台
	災害時特殊公衆電話機	2台
	懐中電灯	⑤個
	乾電池（単1）	16本
	乾電池（単2）	24本
	非常燃料（炭・10kg）	20箱
	焼網（28cm）	100枚
	ごみ袋	100枚

※上記一覧表は、ミニ防災拠点（市立小・中学校）1校あたりの標準備蓄品量

感染防止対応として追加した備品一覧
（2020年8月時点）

改訂

アイテム	鎌倉市備蓄	避難所防災倉庫	備　　考
①マスク	6，000枚	＊3，000枚	＊近日中入荷予定
②フェイスシールド	200枚	7枚	受付にて使用
③アルコール除菌液	120L	＊2L	＊発生時各避難所に配布
④ハンドソープ	備蓄あり	250ml　5個	指先衛生の確保
⑤次亜塩素酸溶液	ﾊｲﾀｰ・容器・備蓄		避難所には近日中配布
⑥体温計（非接触方）	備蓄有り	近日中に2個配布	受付時の件検温用（提示検温は避難者持参）
⑦使い捨て手袋	備蓄あり	100枚入り1箱	
⑧ビニールシート	現状無	現状無	購入予定
⑨ブルーシート	ロール型有り	1ロール	カットして使用
⑩パーティション	備蓄有り	＊10個	＊10個追加近日
⑪段ボールベット	業者と協定締結済み	2日で配給（数量未定）	滞在所の飛沫感染防止用
⑫養生テープ		7個	